

団体の活動が活発化するためのチェックポイントをまとめましたので、団体支援の際に活用してください。団体にアドバイスするときには、わかりやすい言葉で説明することが求められますので気をつけましょう。

また、点検は定期的に行うことで、その効果が発揮されます。継続して点検を行ってください。

【点検の指標】◎：できている ○：もう少し △：がんばろう

●取組を活発化させるためには

取組が活発化する要因	年	年	年
・丁寧なニーズ調査を行っており、ニーズに合った取組内容になっていますか			
・団体内で、定期的な打合せや関係者に情報提供を行うなどの工夫をしていますか			
・活動を継続的・安定的に行えるよう、専門的なスタッフを置く、役割分担をするなど、組織づくりを行っていますか			
・取組の継続や資金・人材の維持を意識して取り組んでいますか			
・取組がニュースや広報誌などに取り上げられるなど、活動が認められたことがありますか			
・団体の状況に合わせて、取組の規模や取組手法を定期的に見直していますか			

◆ポイント

取組が活発化するには、組織内で情報共有ができている。組織運営や事業運営に必要なスタッフやスキルなどを持っている。活動について広く発信するスキルを持っているという要素が必要です。

また、取組の目的やニーズと、活動主体の担い手の状況やキャパシティを考慮し、活動主体の状況にあった取組手法や取組規模を検討することが活発化につながるといえます。

●担い手を増やすためには

担い手の参画・育成のための仕掛け	年	年	年
・興味を持つ人に幅広く参加してもらおうとする、積極的でオープンなスタンスを持っていますか			
・参加してもらう人の負担軽減や、各自の都合に応じた対応を行うなど、参加する際のハードルを下げる工夫をしていますか			
・活動に楽しめる要素を取り入れるなど、参加してみようという気持ちを高める工夫をしていますか			
・参加にあたり、身近な知人に声をかけるなど、日ごろのつながりやコミュニケーションの中で誘いあっていますか			
・担い手に対して、活動の目的や意義の確認、活動スキルを高める目的の研修や勉強会、打合せを行っていますか			
・担い手の活動を認める工夫や、活動に楽しい要素を取り入れるなど、モチベーションを維持するような工夫をしていますか			

◆ポイント

多くの方に活動に参画してもらうためには、受け入れ体制を整え、積極的でオープンなスタンスをもち、参加のハードルを下げる工夫や参加したいという工夫をし、日頃のつながりのなかでよいタイミングで誘い合うことなどが必要といえます。

また、担い手を育成するには、活動意義の確認や活動スキル向上を目的とした研修や勉強会などの機会を持ち、活動に楽しい要素を取り入れる、担い手の活動を認知・顕彰する機会を持つなどしてモチベーションを維持する工夫が必要であるといえます。

●解決できない課題が発生した時には

連携協働をはじめる契機	年	年	年
・現在のメンバーでは解決しない、取組が広がらない課題があることを認識していますか			
・他の団体と連携協働することで、課題解決が進む場合があることを知っていますか			
・課題が解決できるなら、他の団体と連携してみようという前向きな姿勢がありますか			
・他の団体の参画が得やすいよう、課題や取組をオープンにしていますか			
・団体のリーダーが連携協働に積極的ですか			
・行動を起こしたときに、適切なアドバイスをくれる人・団体に出会えていますか			

◆ポイント

連携協働の取組がはじまるためには、活動主体においては、リーダーをはじめ団体の総意として、連携協働で取り組むことの必要性やメリットについて理解が進んでいる必要があります。

●他団体と連携するには

多様な主体の参画のための仕掛け・連携協働が進む要因	年	年	年
・協働相手が参画しやすいように受け入れ体制を整備していますか			
・実施主体としての連携に限らず、場所や資金の協力、ノウハウの伝授や情報発信支援など、多様な連携の形態を認識していますか			
・多様な主体と連携するためには、参画を促す工夫が必要であることを認識していますか			
・連携協働を考えたときに、地域にある交流の場を紹介してくれたり、多様な主体と連携する協力してくれるコーディネート機能に出会っていますか			
・合意形成を図りながら進めることができるスキルを持っている人材がいますか			

◆ポイント

多様な主体に参画してもらうためには、他団体と連携する体制を整え、オープンなスタンスで情報を発信し、連携相手に応じた多様な連携の形態を視野に置いて、参画のハードルを下げる工夫や参画したいという気持ちが高まる工夫をすることが必要です。また、異なる団体間の意見をまとめていくスキルを持った人材がいることも必要です。

～ 全体を通じて～

<p>【取組の活発化】</p> <p>➢組織内で情報共有ができています</p> <p>➢運営に必要なスタッフやスキル・ノウハウを持っている</p>	<p>【担い手の参画】</p> <p>➢受け入れ側がオープンなスタンスを持っている</p> <p>➢参加のハードルを下げる工夫をしている</p>	<p>【連携協働】</p> <p>➢連携協働することの必要性やメリットに気付いている</p> <p>➢団体のリーダーが連携協働に積極的である</p>	<p>【多様な主体の参画】</p> <p>➢ノウハウの伝授を行うなど多様な連携の形態を取り入れている</p> <p>➢多様な主体の参画を促す工夫をしている</p>
---	--	--	---

用語集 (50音順)

用語	説明
ICT (アイ・シー・ティー)	Information and Communication Technology の略語で、コンピュータやインターネットなどの情報通信技術のことをいいます。
アクティブラーニング	<p>教員による一方向的な講義形式とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称をいいます。</p> <p>グループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブラーニングの方法です。</p>
SNS (エス・エヌ・エス)	Social Networking Service の略語で、インターネットを經由して他者とのコミュニケーションを行うためのツールのことをいいます。
NPO (エヌ・ピー・オー)	Non Profit Organization の略語で、法人格の有無や活動の種類とは関係なく、自発的に非営利の市民活動を行う民間の組織のことをいいます。日本語では「民間非営利組織」と訳されています。
NPO (エヌ・ピー・オー) 法人	<p>特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した法人を、「NPO法人(特定非営利活動法人)」といいます。</p> <p>法人格を持つことによって、法人の名の下に取引等を行うことができるようになり、団体名義での契約締結や土地の登記など、団体がいわゆる「権利能力の主体」となり、団体自身の名義において権利義務の関係を処理することができるようになります。</p>
オブザーバー	会議などで、発言権はあっても議決権のない人。また、傍聴人のことをいいます。
キーパーソン	物事の運営・進行に大きな影響力を持つ人のことをいいます。
KGI (ケー・ジー・アイ)	Key Goal Indicator の略語で、目標に対する達成度合いを定量的に表すことをいいます。日本語では「重要目標達成指標」と訳されています。
KPI (ケー・ピー・アイ)	Key Performance Indicator の略語で、目標を達成するプロセスの状態を計測することをいいます。日本語では「重要業績評価指標」と訳されています。
コーディネーション	物事を調整してまとめ上げることをいいます。
コーディネーター	物事を調整する人のことをいいます。
コーディネート	各部分を調整して、全体がうまくいくように整えることをいいます。

用 語	説 明
コミュニティ・ビジネス	地域の住民が、地域課題やニーズの解決のために必要なサービスなどをビジネスの手法で提供する事業のことをいいます。営利目的ではなく、地域の利益を増大させることを目的としています。
GIS（ジー・アイ・エス）	Geographic Information System の略語で、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術のことをいいます。日本語では、「地理情報システム」と訳されています。
CSR（シー・エス・アール）	Corporate Social Responsibility の略語で、企業が日々の経営活動において人権や環境といった社会への配慮に基づき、従業員、消費者、地域社会に対して責任ある行動を行うことをいいます。日本語では「企業の社会的責任」と訳されています。
市民活動	<p>不特定かつ多数の人の利益の増進に寄与することを目的に、自主的に行う活動で、次のいずれにも該当しないものをいいます。</p> <p>ア 営利を目的とする活動</p> <p>イ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とする活動</p> <p>ウ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とする活動</p> <p>エ 特定の公職の候補者(当該候補者になろうとする者を含む。)若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とする活動</p> <p>【大阪市市民活動推進条例から抜粋】</p>
市民活動団体	<p>地域住民により組織された団体、ボランティア団体、NPOその他の市民活動を行う団体をいいます。</p> <p>【大阪市市民活動推進条例から抜粋】</p>
社会的ビジネス	行政が実施責任を負うべき事務事業について、その担い手の最適化の観点からコミュニティ・ビジネス（CB）やソーシャル・ビジネス（SB）として実施されるものを「社会的ビジネス」と位置付けています。地域課題や社会的課題をビジネスの手法を用いて解決しようとする点においてはCB/SBの一類型になるが、「社会的ビジネス」は、本市が既存の事務事業をもとに再構築した事務事業を委託する点が、その特徴といえます。
ソーシャル・ビジネス	市民が、社会的課題やニーズの解決のために必要なサービスなどをビジネスの手法で提供する事業のことをいいます。営利目的ではなく、社会の利益を増大させることを目的としています。
地域活動協議会	校区等地域を単位として、さまざまな市民活動団体が幅広く参画し、開かれた組織運営と会計の透明性を確保しながら地域課題に取り組む、自律的な地域運営の仕組みのことをいいます。

用 語	説 明
地域団体	地域活動を行う団体をいいます。
地縁型団体	特定のエリアを単位として、そこにお住まいの個人や世帯により構成された団体をいいます。
中間支援組織	社会の変化やニーズを把握し、様々な団体の活動や団体間の連携を支援する組織のことをいいます。主な役割は、資源（人・モノ・カネ・情報）の橋渡しや、団体間のネットワーク促進、価値の創出（政策提言・調査研究）などです。
ツイッター	140文字以内の文章を無料で、投稿・発信・閲覧できるインターネット上のコミュニケーションサービスのことをいいます。
特定非営利活動法人	<p>特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した法人を、「特定非営利活動法人（NPO法人）」といいます。</p> <p>法人格を持つことによって、法人の名の下に取引等を行うことができるようになり、団体名義での契約締結や土地の登記など、団体がいわゆる「権利能力の主体」となり、団体自身の名義において権利義務の関係を処理することができるようになります。</p>
フィランソロピー	寄附や社会的投資等を通じて社会的課題の解決を図ることをいいます。
フェイスブック	インターネット上で自分の経歴を載せ、会員とメッセージをやり取りしながら、交友を広げられるサービスのことをいいます。
ポータルサイト	インターネット上で、必要な情報を得るために最初にアクセスするような、各種の利便性を備えたサイトのことをいいます。
ライフサイクル	誕生から死までの、人の一生の過程のことをいいます。
ラウンドテーブル	英語で「円卓」の意味から、肩書はせずして、いろいろな人たちが対等の立場で自由に話し合う会議のことをいいます。
ワークショップ	所定の課題についての事前研究の結果を持ち寄って、討議を重ねる形の研修会のことをいいます。